

「女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定届共同受付式」を開催しました。

平成28年3月25日（金）に宮崎労働局において、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定届共同受付式を開催し、宮崎県のリーディングカンパニー4社が宮崎労働局長に策定届の提出を行いました。

受付式後の懇談会では、各社の女性の活躍推進の特色について情報交換が行われました。各社の主な発言は、以下のとおりです。（企業名五十音順）



#### ○懇談会でのご発言概要

##### 【株式会社 ソラシドエア】

・当社は、従業員の内籍数および採用者の男女比率が、ほぼ同数である。また、平均勤続年数においても現時点では差がない状況であるものの、今後社歴を重ねるにつれて男女間における勤続年数の差が開かないよう、会社全体で女性・男性ともに定着できる職場環境を整える。

当社では、評価や業務内容において男女を区別していないので、職場定着率が将来的に管理職の男女比率となるよう活動計画を実行する。

・男性比率が多い職種は、特に女性を採用するための工夫をする。



【株式会社 ホンダロック】

- ・男性社員数が多い中で、女性の継続就労者は増えているものの、キャリアアップが進んでおらず、管理職が0人であることが課題である。
- ・今後、女性が更に活躍できるよう、意識・風土や女性のキャリアアップ志向の醸成、および全従業員がより仕事と生活を両立しやすくするための制度の充実検討を、今回の行動計画として策定した。



【株式会社 宮崎銀行】

- ・女性係長級に占める女性割合は15.4%であるため、今回の行動計画では2020年までに係長級の女性を20%以上とすることに取り組むこととした。将来的には、女性管理職を増やしていく。
- ・これまでも、女性行員が自分らしく、長く働き続けられるよう支援を行ってきたが、ライフイベントとキャリア形成が両立できる研修を実施していく。



【株式会社 宮崎太陽銀行】

- ・おととし12月にワーキンググループを立ち上げ、女性行員全員にアンケートを実施した。アンケート結果から、女性自身のやる気と男性の意識改革が大切であることがわかった。
- ・本日の内示で女性支店長が誕生した。ワーキンググループでの提言を元に、行動計画を策定した。

